



1. printf述語の形式

```
<printf {文字列 | フォーマット述語 | エスケープ述語} >
```

printf述語は、引数の文字列, フォーマット述語, エスケープ述語 を表示します。引数は複数指定可能。

引数が文字列の場合は、そのまま表示されます。

フォーマット述語の場合は、指定されたフォーマットに従い表示します。

エスケープ述語の場合は、指定されたエスケープ文字が表示されます。

エスケープ文字としては、改行やタブなどの表示に使えます。

例:
`<printf "output " <%_d 10> <_n>>`

これは、以下のC言語の記述と同じです。

```
printf("output %d\n", 10);
```

2. フォーマット述語

```
<%_フォーマット文字 値>
```

フォーマット文字の指定に従って、値を変換して表示します。

C言語のprintfのフォーマットと同様の指定です。

フォーマットと値は、一対のものが1つしか指定できません。

● フォーマット文字

フォーマット文字は、フラグ文字, 幅指定, 変換指定で構成されます。

例えば、"010g"は、フラグ文字が0で幅指定が10で変換指定がgです。

これは、C言語のprintfのフォーマットで、"%010g"と指定したのと同じです。

2.1 フラグ文字

以下の文字が使えます。

```
# 特別な形態で出力 (8進数の先頭の0, 16進数の先頭の0xなど)
0 空きを0で埋めて出力
- 右詰め
' (空白) 空きを空白で埋めて出力
+ 符号を付けて出力
```

2.2 幅指定

「数字列」や「数字列.数字列」の形式で指定します。

2.3 変換指定

以下の文字を指定できます。

```
d i : 10進整数
o   : 8進整数
u   : 符号なし10進整数
x X : 16進数
e E : 指数形式浮動小数点数
f F : 浮動小数点数
g G : 指数の小さなときは、f, Fと同じ浮動小数点数の表示形式
      指数の大きなときは、e, Eと同じ浮動小数点数の表示形式
s   : 文字列
```

3. エスケープ述語



<_エスケープ文字>

エスケープ文字として以下が使えます。

a b f n r t

以下のエスケープ文字と対応します。

\a	07	BEL	内蔵ベルを鳴らす
\b	08	BS	バックスペース
\f	0C	FF	改頁
\n	0A	LF	改行
\r	0D	CR	復帰
\t	09	HT	水平タブ

【ページ情報】 更新日時: 2009-04-29 13:45:18, 更新者:  hniwa
 【ライセンス】  クリエイティブ・コモンズ 表示
 【権限】 表示:制限なし, 編集:ログインユーザ, 削除/設定:ログインユーザ
 【IRI】 <http://sourceforge.jp/projects/descartes/wiki/ManPrintf>